全国高等学校ビジネスアイディア甲子園

第12回・第14回全国高等学校ビジネスアイディア甲子園で
グランプリを受賞した「愛知県立豊橋工業高等学校」が
2016年2月25日、中日新聞に掲載されました。



発明扇風　日本の夏に吹け

「足で操作」全国発売へ

豊橋工業高　先輩の案を発展

愛知県豊橋市の豊橋工業高校の生徒三人が考案した「足で操作できる扇風機」がこの春、全国発売されることになった。「行儀が悪い」と母親に叱られた経験を逆手に取った先輩のアイデアを受け継いで開発。かがまずに操作でき、足腰の弱いお年寄りにも優しい製品になった。お母さん、これなら文句ないでしょ！（小原健太）

三人は電子機械科三年の今原順一さん（一七）、鈴木崇弘さん（一七）、今泉拓陽さん（一七）。製品名は「あしもとスイッチfan」。通常は台座の上部にある電源などの操作ボタンを前側面に配置し、つま先で押せるようにした。「足専用」を打ち出すことで、マナーにうるさい大人の嫌悪感を軽くするのが狙いだ。

もともとは昨年の卒業生須田祥一郎さん（二）らのアイデア。扇風機を足で操作した須田さんが母親に注意された体験をヒントに、ひと目で足専用と分かる足形の台座を製作した。

指導する小久保寿也教諭（三）がメーカー数社に売り込むと、総合商社の山善（大阪市）だけが反応したが「子どもが興味を持ちやすい形。けがを防ぐため、安全審査が厳しくなる」「骨み付けるボタンは既製品以上の強度が必要」といった課題が挙げられ、製品化までに至らなかった。

これらの問題点を克服するため、三人はアイデアを練り直し、体重計の前面にあるボタン式のスイッチを足で押して操作する体組成計に着目した。体組成計の外枠を使って試作してみると、ボタンに体重がかからず、デザインもシンプルになった。昨年六月に山善名古屋支社に持ち込み、商品化が決まった。

山善家庭機器事業部の川辺一馬さん（三）によると、リモコンが付いている扇風機でも本体側のボタンを操作する人が多く、結局は「つい足で」ということも多いとか。「発想が斬新。足での操作は社内でも話題になり、一定の販売が見込めると思った」と大鉄判を押す。

台座の先に五つのボタンが張り出すデザインは「先輩が考えた足形の要素も入っている」と今泉さん。今原さんも「インパクトのある足形のデザインを見て、開発を引き継ごうと決めたので、形を考慮してくれて良かった」と話す。

四月上旬から全国の家電量販店やホームセンターなどに並ぶ。オープン価格のため、三人はいくらで販売されるのか知らない。鈴木さんは「早く店頭に並ぶのが見たい。気になって売り場をずっと見てしまうかもしれないけど」と笑顔を見せた。

※中日新聞社の許諾を得て転載しています。